

代田智明先生
業績一覧
(2016年11月現在)

学術著作・翻訳・辞書・教科書など書籍

- 著書・『現代中国とモダニティ——こうもりのボレミック——』三重大学出版会，2011年，pp. 1-330
- 教科書・『中国語基礎 (08)——ラブレターは書きますか——』2008年，放送大学教育振興会，pp. 1-195
- 著書・『魯迅を読み解く——謎と不思議の10篇』2006年，東京大学出版会，序文 p 3，pp. 1-307
- 辞書・松岡，樋口，白井と共編『クラウン 中日辞典』三省堂，2001年，三省堂，pp. 1-1588
- 教科書・『中国語 III (00)——中国のエッセイを読む——』2000年，放送大学教育振興会，pp. 1-119
- 編訳書・刈間文俊と共編『立ち上がる中国知識人 方励之と民主化の声』1989年5月，凱風社，pp. 1-96
- 編訳書・刈間文俊と共編『衝撃の中国 血の日曜日 燃え上がった民主化闘争』1989年8月，凱風社，pp. 1-166
- 編訳書・刈間，白井，白水と共編『現代中国文芸アンソロジー 火種』1989年10月，凱風社，pp. 1-436

論文

- ・「魯迅進化論の淵源を探る——ハックスリー・嚴復・ニーチェ」雑誌『颯風』第五十五号，2016年3月，pp. 1-33
- ・「王小波『黄金時代』私論——変容するセクシャリティ」雑誌『颯風』第五十四号，2016年1月，pp. 1-31
- ・「近現代社会視野下の辛亥革命」李廷江 大里浩秋主編『辛亥革命与亜洲』社会科学文芸出版社，2015年2月(中国語)，pp. 379-385
- ・「「出関」論——知識人像の変容」雑誌『颯風』第五十二号，2014年2月，pp. 17-36
- ・「魯迅の声はなぜ沈黙したか——周兄弟不和事件に関する「妄想」的推論」雑誌『颯風』第五十二号，2014年2月，pp. 1-16
- ・「魯迅の革命・改革に対する立ち位置」雑誌『中国研究月報』2013年8月号，中国研究所，pp. 15-24
- ・「中国近代から見た辛亥革命」大里・李編『辛亥革命とアジア 神奈川大学での辛亥100年シンポ報告集』お茶の水書房，2013年3月，pp. 533-543
- ・「もうひとつの近代化と文革評価」雑誌『中国研究月報』2013年3月号，中国研究所，pp. 17-23
- ・「癒しの文学としての魯迅」雑誌『中国研究月報』2013年1月号，中国研究所，pp. 35-40
- ・「作為治癒文学的魯迅」『反思与突破——在經典与現實中走向縱深的魯迅研究』安徽文芸出版社，

2013年2月, pp. 377-381 (中国語)

- ・「1934: 作為媒介者的魯迅」王風・白井重範編『左翼文学時代——日本“中国三十年代文学研究会”論文選』北京大学出版社, 2011年11月(中国語), pp. 291-309
- ・「大字報(壁新聞)」外史——「延安整風運動」中心に中国の政治文化を考える」『ODYSSEUS』第15号, 東京大学大学院総合文化研究科 地域文化研究専攻 紀要, 2011年, pp. 19-45
- ・「談魯迅論与“個”的自由主体性——由伊藤虎丸論起」趙暉訳『現代中文学刊』2011年第3期, 現代中文学刊雑誌社, 2011年6月(中国語), pp. 56-73
- ・「魯迅と絵画的なるもの」『1934年 魯迅に贈った和光小学生の版画』学校法人 和光学園, 2011年4月, pp. 16-26
- ・「希望と絶望のはざまを跳躍する——魯迅『野草』「希望」を読む」, 雑誌『颯風』第四十七号, 2010年4月, pp. 1-34
- ・「中国モダニティと思想改造——丸川哲史『魯迅と毛沢東 中国革命とモダニティ』(以文社)を書評する——」雑誌『中国研究月報』2010年10月号, 中国研究所, pp. 27-33
- ・「竹内好『近代とは何か』『近代の超克』再読」雑誌『中国研究月報』, 中国研究所, 2009年7月号, pp. 1-12
- ・「哲学と思想/自己と他者——書評溝口・池田・小島『中国思想史』と中島隆博『残響の中国哲学』」『中国研究月報』2008年10月号, 中国研究所, pp. 21-34
- ・「魯迅論と個の自由な主体性について——伊藤虎丸をきっかけとして——」雑誌『颯風』第四十五号, 2008年, pp. 1-40
- ・「基於魯迅思考上的“復讐”与“末日”」雑誌『魯迅研究月刊』魯迅博物館, 2007年7月号(中国語), pp. 8-15
- ・「魯迅における「復讐」と「終末」」中国文芸研究会『野草』第79号, 2007年2月, pp. 1-16
- ・「現代中国・モダニティ・文学——2著の書評をかねて」雑誌『中国研究月報』2006年9月号, 中国研究所, pp. 1-16
- ・「間をつなぐ遊動者——隠された魯迅という記号——」雑誌『文学』岩波書店, 2006年1・2月号, pp. 176-192
- ・「女と男の間——丁玲『夢珂』『莎菲』におけるジェンダー」雑誌『颯風』第三十九号, 2005年9月, pp. 1-27
- ・「危機の葬送——魯迅『孤独者』論——」雑誌『中国研究月報』2004年4月号, 中国研究所, pp. 3-20
- ・「グローバリゼーション・魯迅・主観間性」雑誌『中国研究月報』2004年2月号, 中国研究所, pp. 32-38
- ・「全球化・魯迅・相互主体性」雑誌『韓国言語文化研究』第6輯, 2004年3月, 韓国現代中国研究会(中国語), pp. 455-464

- ・「1934：作為媒介者的魯迅」雑誌『魯迅研究月刊』2004年2月号，魯迅博物館，pp. 56-64（中国語）
- ・「ロシナンテの影——「もし魯迅がいま生きていたら」論争ノート」2004年8月号 pp. 11-20（研究ノート）
- ・「日本的近代批判与魯迅」『中国現代文学』第24号，『韓中言語文化研究』第6輯，韓国現代中国研究会，2004年3月（中国語），pp. 455-466
- ・「一九三三年・上海・魯迅の筆法」講座『文学』第10巻「政治への挑戦」，岩波書店，2003年8月，pp. 233-255
- ・「『孔乙己』論——パラドキシカルな啓蒙の戦術——」雑誌『未明』第十八号，2003年3月，pp. 95-118
- ・「お腹の子の父親はだれ？——銭鐘書「記念」のミステリー」雑誌『東方』270号，東方書店，2003年8月，pp. 6-10
- ・「反転するテキストおよびテキストと読者との交錯について——文学研究は何ができるか——」雑誌『中国研究月報』2003年3月号，pp. 3-10
- ・「語らぬこと，語ること，聞き取ること——加害と被害との間を媒介する用意について——」『現代中国研究』第12号，中国現代史研究会，2003年3月，pp. 24-35
- ・「ふたりの素敵なセクシャリティ——許広平とウィリアムズ」中国文芸研究会『中国文芸研究会報』第250期記念号，2002年9月，pp. 40-43
- ・「二つの汪曾祺『復讐』と二つの仇討ちの話」雑誌『颯風』第三十六号，2002年9月，pp. 13-34
- ・「日本における近代批判と魯迅」雑誌『中国研究月報』2002年7月号，中国研究所，pp. 55-62
- ・「近代論の彼方——新たに「方法としてのアジア」を」中国文芸研究会『野草』第63号，1999年，pp. 1-21
- ・「竹内好と武田泰淳——二人の思想的すがた」雑誌『颯風』第三十三号，1997年12月，pp. 40-60
- ・「中野重治『斎藤茂吉ノオト』小論——擬制の近代による抵抗」『日本学研究』第7号，北京日本学研究中心，世界知識出版社，1998年11月 pp. 109-126
- ・「阿Qの欲望——視線の物語としての『阿Q正伝』——」中国社会文化学会『中国——社会と文化』第十号，1995年6月，pp. 66-82
- ・「『奔月』・神話の終焉——『故事新編』ノート・III」雑誌『颯風』第三十号，1994年12月，pp. 62-82
- ・「五四時期のあるユートピアの夢——雑誌『新社会』の言論空間」東京大学教養学部外国語科編外国語科研究紀要，第41巻第5号，1994年3月，pp. 63-81
- ・「『故事新編』論ノートII——『補天』をめぐって」雑誌『颯風』第二十九号，1994年2月，pp. 1-17
- ・「魯迅の小説における対話性と世界像——『故事新編』へ至る作品群についての試論」魯迅論集編集委員会編『魯迅研究の現在』汲古選書3，1992年9月，pp. 95-121
- ・「『故事新編』の形成とその「序言」の解釈について——『故事新編』ノートI」雑誌『颯風』第

二十七号, 1992年8月, pp. 1-25

- ・「語り手の位相——「小さな出来事」と「無題」に関する、些か大袈裟なメモランダム」雑誌『颯風』第二十四号, 1990年7月, pp. 36-57
- ・「溝口方法論」をめぐって(上)」雑誌『野草』第46号, 中国文芸研究会, 1990年8月, pp. 1-15
- ・「劉心武『白牙』小論」『中国文芸研究会会報』第100号記念号, 中国文芸研究会, 1990年3月, pp. 18-25
- ・「「命命鳥」論——裏切りの説話から沈黙へ」雑誌『猫頭鷹 近代思想と文学』第四号, 「新青年」読書会, 1985年12月, pp. 61-82
- ・「近代論の構図」, 同人雑誌『猫頭鷹 近代中国の文学と思想』創刊号, 「新青年」読書会, 1983年, pp. 1-12
- ・「解題——《駱駝草》をめぐって——」伊藤虎丸編『駱駝草 附駱駝』アジア出版, 1982年1月, pp. 1-19
- ・「許地山における伝統と革新」『中哲文学会報』第六号, 1981年6月, 東大中哲文学会, pp. 235-254

書評

- ・加々美光行『未完の中国——課題としての民主化』雑誌『中国研究月報』2016年5月号, pp. 21-24
- ・長堀祐造『魯迅とトロツキー——中国における『文学と革命』』雑誌『中国研究月報』2012年8月号, 中国研究所, pp. 40-44
- ・岡田祥子訳『新中国を生きた作家 蕭乾』『中国研究月報』2009年10月号, 中国研究所, pp. 35-38
- ・山田敬三『魯迅 自覚なき実存』『中国研究月報』, 中国研究所, 2009年8月号, pp. 27-30
- ・加々美光行編『中国の新たな発見 叢書現代中国の構築に向けて(1)』『中国研究月報』2008年11月号, 中国研究所, pp. 32-35
- ・孫歌『アジアを語ることのジレンマ』中国文芸研究会『野草』第71号, 2007年2月, pp. 100-106
- ・孫歌『竹内好という問い』雑誌『中国研究月報』2006年2月号, 中国研究所, pp. 33-37
- ・「『婦女雑誌』からみる近代女性」雑誌『中国研究月報』2005年9月号, 中国研究所, pp. 48-51
- ・「溝口雄三『中国の衝撃』」雑誌『中国研究月報』2005年3月号, 中国研究所, pp. 45-48
- ・「近代ステージパパの悲劇——『君よ弦外の音を聞け』(榎本泰子訳, 樹花社)」雑誌『中国図書』2004年9月号, 内山書店, pp. 2-4
- ・「回避された亀裂への眼差し 近代化・「現代性」・モダニズム——書評『中国二〇世紀文学を学ぶ人のために』」『中国文芸研究会会報』第265号, 2003年11月, pp. 1-7
- ・「『魯迅書簡と紙箋』(阿倍幸夫著 研文出版)」雑誌『中国研究月報』2003年1月号, 中国研究所, pp. 47-50

- ・「書評『ユートピアへの想像力と運動——歴史とユートピア思想の研究』」雑誌『中国研究月報』2002年11月号，中国研究所，pp. 51-54
- ・書評「魏京生『勇氣 獄中からの手紙』」『週刊現代』1998年3月12日号，p. 149
- ・「書評 丸尾常喜『魯迅 「人」と「鬼」の葛藤』」雑誌『しにか』1994年5月号，大修館書店，pp. 122-123
- ・書評北島・史鉄生他著『紙の上の月』『週刊読書人』1991年11月4日号
- ・書評劉大任『デイゴ燃ゆ 台湾現代小説選』『週刊読書人』1991年3月25日号
- ・書評李長之『魯迅批判』『週刊読書人』1990年7月9日号
- ・「書評 水上勉ほか著『中国——心ふれあいの旅』」雑誌『中国研究月報』444号，中国研究所，1985年2月，pp. 26-27

エッセイ

- ・「4年ぶりの北京」，雑誌『中国研究月報』「光陰似箭」欄，2016年10月号，中国研究所，pp. 46-49
- ・「外国語の文学に触れる」中国語欄，『東京大学新聞』2016年10月4日号
- ・「雑読からいささか大げさな話題」，雑誌『中国研究月報』「光陰似箭」欄，2016年2月号，中国研究所，pp.46-47
- ・「コマバ中国語教師の心得」『TONGXUE』同学社，2015秋号，2015年10月，pp. 2-3
- ・「中国における日本の魯迅研究——済南の学会に参加して」雑誌『中国研究月報』，2014年7月号，中国研究所，pp. 21-23
- ・「あなた方への手紙」雑誌『中国研究月報』2014年3月号，特集「どうする日中関係」(9)，中国研究所，pp. 46-50
- ・「「敏感詞」始末」雑誌『中国研究月報』「光陰似箭」欄，2014年2月号，中国研究所，pp. 45-46
- ・「特集に添えて」2013年12月号，『中国研究月報』「特集 近代中国文学研究の現在」序文，pp. 1-2
- ・「一个梦」『文艺报』2013年9月11日号，第12版(中国語)
- ・「蛸壺のなかのまどろみ」雑誌『中国研究月報』2012年5月号，中国研究所，pp. 34-37
- ・「私たちの想像力は「韃靼海峡」を渡っていけるか」雑誌『中国研究月報』2012年11月号，pp. 50-51
- ・「「中国なんかにいけるのか」」雑誌『中国研究月報』2012年9月号，中国研究所，pp. 27-28
- ・「書評の太平洋楽」雑誌『中国研究月報』「光陰似箭」欄，2011年5月号，中国研究所，pp. 53-55
- ・「現代中国に関する人文学を考える——コウモリのぶらさがり位置——」『現代中国とモダニティ』2011年3月，三重大学出版会，pp. 1-14
- ・東京大学教養学部中国語部会編『行人』「はしがき」東京大学出版会，2008年4月，pp. i-iii
- ・「いまどき北京」雑誌『中国研究月報』「光陰似箭」欄，2008年4月号，中国研究所，pp. 53-54

- ・「方法としての魯迅——特集「21世紀初頭・東アジアで魯迅を語る」雑誌『中国文学月報』2007年7月号，中国研究所，pp. 1-2
- ・「われはみちくさ」雑誌『颯風』第四十二号，2007年4月，pp. 33-41
- ・「魯迅を語ることのアポリア——魯迅特集に添えて」雑誌『中国研究月報』2007年3月号，中国研究所，pp. 1-2
- ・「魯迅 危険な思想家，救済の文学者」雑誌『UP』2007年1月号，東京大学出版会，pp. 24-28
- ・「丸山昇先生を偲んで」雑誌『中国研究月報』「光陰似箭」欄，2006年12月号，中国研究所，pp. 51-52
- ・「立ち位置」雑誌『中国研究月報』「光陰似箭」欄，2005年7月号，中国研究所，pp. 45-48
- ・「両面の枝——「半日」から「反日」へ向けてのことば——」雑誌『藍』2005年5月，藍・BLUE文学会，pp. 233-237
- ・「反応に対する反応——梶谷，三好両氏に答えて——」雑誌『中国研究月報』2004年12月号，中国研究所，pp. 40-43
- ・「ぼくたちは好戦的!？」雑誌『中国研究月報』2004年9月号，中国研究所，pp. 17-18
- ・「ヌエとなる覚悟について——下出哲男の論考を読んで——」中国文芸研究会会報第271号，2004年5月，pp. 1-4
- ・「北京における対話——ナショナリズム談義——」『日本現代中国学会ニュースレター』第11号，2004年1月
- ・「北京の憂鬱——「非典」後伝瑣記」雑誌『中国研究月報』「光陰似箭」欄，2003年12月号，中国研究所，pp. 48-51
- ・「南京の憂鬱——刷り込まれた「記憶」」雑誌『中国研究月報』「光陰似箭」欄，2003年10月号，中国研究所，pp. 51-54
- ・「2003年4月北京「非典」日誌」雑誌『中国研究月報』2003年4月号，中国研究所，pp. 38-46
- ・「中国文学研究は何ができるか 序に代えて」雑誌『中国研究月報』2003年3月号，中国研究所，p.1
- ・「ある「日本人」の死」雑誌『中国研究月報』「光陰似箭」欄，2002年8月号，中国研究所，pp. 48-49
- ・「方法としての魯迅——特集「21世紀初頭・東アジアで魯迅を語る」2002年7月号，中国研究所，pp. 1-2
- ・「アジア三角学のススメ」『東洋学研連ニュース』第2号，2002年4月
- ・「東大教師が新入生にすすめる本」雑誌『UP』2002年4月号，東京大学出版会，p. 6
- ・「まどろみの中の対話 ある同級生を悼んで」東京大学文学部中文同窓会『公孫樹人』創刊号，2002年7月，pp. 42-46
- ・「魯迅は共産党がお嫌!？」雑誌『中国研究月報』2002年2月号，中国研究所，pp. 41-42
- ・東京大学教養学部中国語部会編『園地』「はしがき」，東京大学出版会，2002年2月，pp. i-iii

- ・「「アジア」は無意味か」雑誌『中国研究月報』2002年1月号，中国研究所，pp. 39-43
- ・「消えた「存現文」」雑誌『TONGXUE』第22号，同学社，pp. 1-2
- ・「歴史教科書・ヤスクニ・東アジア」雑誌『中国研究月報』「街談巷議」欄，2001年8月号，中国研究所，pp. 35-38
- ・「歴史も世界もてんやわんや——『故事新編』はもう最高！」雑誌『幕』50号，2001年6月，日中演劇交流話劇人社，pp. 34-37
- ・「機会の公正と結果の公正」雑誌『中国研究月報』「光陰似箭」欄，2001年1月号，中国研究所，pp. 45-46
- ・「「日中知の共同体」シンポジウムに参加して」「光陰似箭」欄，1999年2月号，中国研究所，pp. 50-51
- ・「世界の文学」欄，『東京新聞』1998年3月3日夕刊，第6面，
- ・雑誌『中国語』連載コラム「今月のことば」内山書店，97年4月号～04年3月号
- ・「思想改造と人権」雑誌『中国研究月報』「光陰似箭」欄，1997年12月号，中国研究所，pp. 49-50
- ・「市民権得られたコミック誌」『東京新聞』「世界の文学」欄，1997年2月4日夕刊，第6面。
- ・「複眼による多面的世界 主要15作品の解釈と鑑賞」雑誌『しにか 特集鲁迅を読む』大修館書店，1996年11月号，pp. 72-75
- ・「私小説にみるフェミニズム」『東京新聞』「世界の文学」欄1996年8月27日夕刊第6面。
- ・「歴史と創作の現代的調和」『東京新聞』「世界の文学」欄1996年6月11日夕刊，第6面
- ・「90年代中国芸術：特集にあたって」雑誌『中国研究月報』1996年6月号，中国研究所，pp. 1-2
- ・「許地山 野暮ったさの過激性」雑誌『中国語 特集現代文学の作品』1996年6月号，内山書店，pp. 10-11
- ・「柄にでもなく「師道」について」雑誌『中国研究月報』1996年2月号，中国研究所，pp. 40-42
- ・「自戒」『中国文芸研究会会報』第154号，1994年8月，中国文芸研究会，p. 20
- ・「遺す言葉」「代田智明先生を送る」欄，東京女子大学日本文学研究会『日本文学通信』第11号，1993年4月，p. 6
- ・連載「許地山「運命はクモの巣のよう」」雑誌『中国語』1993年8月号～11月号，内山書店，毎号4p.
- ・「風来坊の繰り言」東京女子大学教職員組合機関誌『ANON』第63号，1993年3月，pp. 9-10
- ・「日中友好」『国際貿易』「今日の話題」欄，日本国際貿易促進会，1992年12月8日号
- ・「雲南からの手紙」『国際貿易』「今日の話題」欄，日本国際貿易促進会，1992年11月10日号
- ・「我愛北京……」『国際貿易』「今日の話題」欄，日本国際貿易促進会，1992年10月13日号
- ・「とある雑談」『国際貿易』「今日の話題」欄，日本国際貿易促進会，1992年9月8日号
- ・「選ばしむべからず」『国際貿易』「今日の話題」欄，日本国際貿易促進会，1992年8月4日号
- ・「違いがわかる人に」『国際貿易』「今日の話題」欄，日本国際貿易促進会，1992年6月28日

- ・「夢」『国際貿易』「今日の話題」欄，日本国際貿易促進会，1992年6月2日
- ・「華（はな）のこつがい」『国際貿易』「今日の話題」欄，日本国際貿易促進会，1992年4月28日
- ・「編集の権力」『国際貿易』「今日の話題」欄，日本国際貿易促進会，1992年3月31日
- ・「四十五年目」『国際貿易』「今日の話題」欄，日本国際貿易促進会，1992年3月3日
- ・「『水滸伝』の伝」『国際貿易』「今日の話題」欄，日本国際貿易促進会，1992年1月28日
- ・「きょう東京女子大学を卒業するあなたへ」ワープロ私家版，1992年3月，p. 1-2
- ・「『故郷』楊二嫂異聞」（上）（下）『中国文芸研究会会報』103・104号，pp. 1-3, pp. 4-7 1990年5月，6月
- ・「我らが誇り高きSS精神について」東京女子大学教職員組合機関誌『ANON』第51号，1990年3月，p. 1-2
- ・「話の付け足し——アノン舌禍事件について」東京女子大学教職員組合機関誌『ANON』第50号，1990年2月，pp. 7-8
- ・「世界史の裂け目としての中国」『別冊宝島 中国・危機の読み方』1990年1月，JICC出版局，pp. 32-43
- ・「中文会・中国語劇『帰来』によせて」東京女子大学中文会『魯彦周 帰来』パンフレット，1989年11月
- ・「女子大 ウラ・オモテ」東京女子大学教職員組合機関誌第48号，1989年5月，pp. 7-8（署名D・Z）
- ・「「チャイ語のススメ」東京女子大学『BULLETIN 学報』「こぼれ話」欄，通巻426号，1989年4月，p. 2
- ・「チャイナ・シンドローム——「不感症」と「過敏症」について」『中国文芸研究会会報』第80号，1987年7月，pp. 1-4
- ・「困ったあげくの「自己紹介」」東京女子大学『BULLETIN 学報』通巻405号，1997年5月，p. 2
- ・「中国語辞典」と『大漢和辞典』を利用しよう。——グウタラな君のために」茨城大学人文図書室『図書室だより』第6号，1987年4月，pp. 3-6
- ・「句読を打ちながら読む」茨城大学人文図書室『図書室だより』第3号，1985年9月，pp. 4-5
- ・第7回教育研究シンポジウム「モラトリアム時代の大学と社会——ピーターパンかシンデレラか——」「基調報告に代えて」茨城大学教職員組合『茨大教職組新聞』No.63，第1面，1984年11月20日
- ・「第7回教育研究シンポジウムにむけて」茨城大学教職員組合『茨大教職組新聞』No. 62，第3面，1984年11月7日
- ・「中国人の思考変革のパターン——士大夫の場合——」茨城大学公開講座『世界の文化と国民性』1984年9月22日 pp. 12-13
- ・「新執行部紹介」欄，茨城大学教職員組合『茨大教職組新聞』No. 60，第2面，1984年7月
- ・随想「「噂話」」『茨城大学学生新聞』第109・110合併号，1983年12月25日，第4面

- ・「国籍とは文化的なものである」雑誌『凱風』No. 11・12, 1983年8月, 凱風社, pp. 162-171
- ・「乗物の乗り方比較論」茨城大学広報誌編集委員会『学園だより』第49号, 1982年11月, p. 4
- ・「ほんのひと跨ぎ」茨城大学教職員組合『茨大教職組新聞』No. 52, 第2面「ニューフェース」欄, 1983年3月

学会報告など

- ・「魯迅——在伝統与世界之間」会議, 2016年9月23日, 人民大学音楽庁, 報告「關於“超越性”的東西——自現代小説到魯迅」(中国語)
- ・“中国文学的“現代”与“当代” 高峰學術論壇”2014年9月20日, 吉林大学東栄大厦, 報告「魯迅与進化論」(中国語)
- ・“世界視野中的魯迅” 國際學術研討会 中国魯迅研究会 2014年6月13日-15日, 山東師範大学(濟南・翰林大酒店), 大会主題報告「魯迅“雜文”的“穩健性”“中庸性”及其思想態度」(中国語)
- ・魯迅与中国社会文化發展學術檢討会 中国魯迅研究会第九次會員代表大会 2013年9月22日-25日, 上海魯迅紀念館, 総括報告「試論『出関』——魯迅对知識人觀的総結」(中国語)
- ・國際魯迅研究会第4期學術論壇「全球本土化語境下的21世紀魯迅研究: 韓国抗日運動與魯迅」2013年6月14-15日, 韓國外国語大学・全南大学, 主題報告「魯迅对于革命, 改革的立場」(中国語)
- ・國際学会『漢学与当今世界』2012年11月3日-4日 北京人民大学 主題報告「關於現代化与中国」(中国語)
- ・学習院女子大学國際コロキウム「ゆらぐ〈境界〉——戦時期東アジアと日本」2012年7月30日 コメンテーター
- ・國際會議「辛亥革命以来的文化史料研討会」人民大学文学院, 2011年11月15日-16日, コメンテーター(中国語)
- ・辛亥革命一〇〇周年紀念シンポジウム「辛亥革命とアジア」神奈川大学, 2011年11月5日-6日, 全体會議報告「中国近代から見た辛亥革命」
- ・紀念魯迅誕辰130周年國際學術研討会, 紹興文理学院, 2011年10月 主題報告「作為治癒文学的魯迅」(中国語)
- ・UTCP 國際ワークショップ「近代東アジアの思考を解きほぐす」東京大学駒場, 2010年12月21日, コメンテーター(中国語)
- ・國際シンポジウム「近代社会とコミュニケーションの技法——グローバル化と漢字文化圏の言語」2010年10月17-20日, 韓国忠北大学, 一般報告「漢字の社会的凝集力について」
- ・國際シンポジウム「日本学と台湾学」2009年5月23日, 台湾静宜大学, 一般報告「竹内好『近代とは何か』『近代の超克』再読」
- ・“中日文化交流与中国現代文学” 國際學術會議, 浙江師範大学人文学院, 2009年1月, 一般報告

(中国語) “關於作為態度的翻譯”

- ・法政大学国際日本学研究センター東アジア文化研究会，招待講演「社会主義という資本主義社会と資本主義という社会主義社会——中国文化と日本文化」2008年12月3日
- ・日中国際シンポジウム「いま魯迅を読む」一橋大学大学院言語社会研究科，2008年11月8日，一橋大学大学院言語社会学科プロジェクト「中国現代文学研究ネットワークの構築」主催，報告「重読『呐喊・自序』及『頽敗線の顫動』——關於父性与母性」(中国語)
- ・国際シンポジウム「近代化社会とコミュニケーションの技法」三重大学人文学部，基調講演，全体討議司会，2008年4月21日
- ・国際シンポジウム「魯迅逝去70周年 魯迅文学の再認識」日本女子大学文学部，報告「魯迅における「復讐」と「終末」」，2006年
- ・国際學術研討会「全球化格局下的現代文学：中国与東亜」南京大学中国現代文学研究中心，韓国中国現代文学学会，報告「全球化・魯迅・相互主体性」ほか，司会，コメンテーター，2003年(中国語)
- ・韓国中国現代文学学会第7次国際學術大会「魯迅，近代性，東亜細亜，21世紀」2001年12月14-15日，一般報告「日本的近代批判与魯迅」(中国語)